

環境経営レポート

(2023年度版 2023年4月～2024年3月)



®環境省

エコアクション21

認証番号0000066

三協食品工業株式会社

作成日: 2024年12月16日

1. 当社の概要

(1) 事業者名及び代表者名

三協食品工業株式会社 代表取締役社長 山元 雅弘

(2) 所在地

本社工場 埼玉県川越市の場754-4

営業部(東京) 東京都千代田区神田美土代町7 日成共益ビル5階

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 品質管理部 岩本 巧

担当者 商品開発部 高橋 友里恵

連絡先 電話 049-231-1711 FAX 049-234-8800

(4) 主な事業内容

認証・登録の対象活動範囲:

スプレードライ及び造粒機による粉末食品及び顆粒食品の製造、
並びに各種食品の包装

(5) 事業の規模

製品出荷額(2023年4月～2024年3月) 11,095 百万円

製品生産量(2023年4月～2024年3月) 8,609 トン

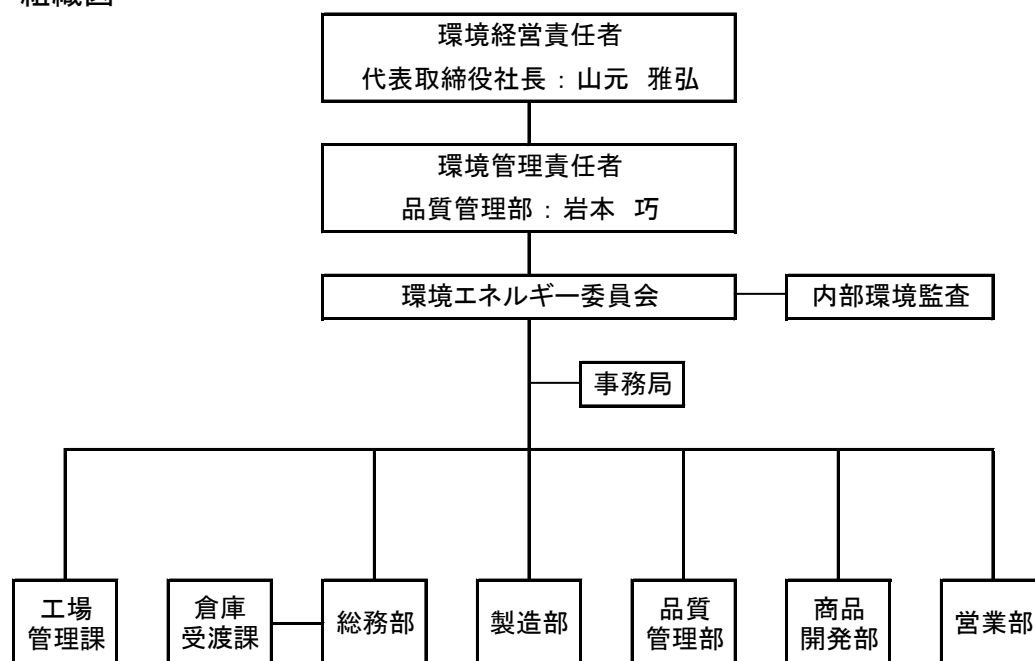
従業員数(2024年3月31日現在) 179 人

工場延べ床面積 12,385 m²



2. 当社の環境経営システムの実施体制

1) 組織図



2) 責任と役割

責任者	役 割
環境経営責任者	環境方針を策定 環境管理責任者を任命 資源(人・物・資金)の用意 評価・見直し・指示
環境管理責任者	システム運用の責任者 代表者へシステム運用実績の報告 システム運用に関する文書・記録を承認する 全従業員に対して教育を行う
部門責任者	自部門におけるシステムの運用・管理に責務を負う 部門担当者を任命し、環境活動の実施確認を行う 自部門における必要な文書・記録を承認する
各部門担当者	自部門の従業員へ環境方針を周知する 自部門の従業員へ環境目標、活動計画を周知し実施する 自部門の従業員に対する教育訓練を行う 実施時のチェックを行い、部門責任者へ報告する 必要な文書、記録類を作成する
委員会事務局	審査の準備と手続きを行う 環境活動レポートを作成する 各記録類を保管する

3. 環境経営方針

三協食品工業は、環境と事業活動の関係をよく認識し、環境保全に配慮した事業活動を行います。

また環境関連法規制等を遵守するとともに、あらゆる環境汚染の予防に努めて参ります。

当社では、粉末、顆粒食材の製造及び包装などの事業活動を行っており、液体を粉末化する装置では相当量の都市ガス及び電力を使用しています。

また原材料としてさまざまな食品原料を購入しており、廃棄物が発生します。

1. 当社は、自主的・積極的に環境経営に取組み、事業活動から生じる環境負荷を継続的・計画的に低減していきます。
2. 生産計画及び製造工程の改善による歩留まり向上を継続的行なうことで、食品リサイクルを含む廃棄物の削減に努めます。
3. 当社の事業活動及び製品に関わる環境側面のうち、以下の事項について環境目標、環境活動計画を明確にし、環境負荷低減及び改善に取り組んで参ります。
 - ① 二酸化炭素の削減として、省資源、省エネルギー化
 - ② 食品廃棄物を含む、廃棄物排出量の削減
 - ③ 食品廃棄物の再生利用等の実施率向上
 - ④ 水使用量の削減
 - ⑤ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに対する環境配慮
4. この環境方針を役員並びに全従業員に対し朝礼や掲示、環境会議などの機会を通して、内容を具体的に周知します。

平成31年3月25日改定

三協食品工業株式会社
代表取締役社長

山元 雅弘

4. マテリアルバランス

三協食品工業は、事業活動に伴って発生する環境負荷を正しく把握し、その低減をめざして取り組んでいます。

(2023年4月～2024年3月までの1年間より算出)



2003年にエコアクション21の取組みを開始、6度の中期目標に挑戦してきた。
この度、更なる環境負荷の低減を目指し、2021年度を基準年として2024年度に向けて以下の
第七次中期目標を設定した。

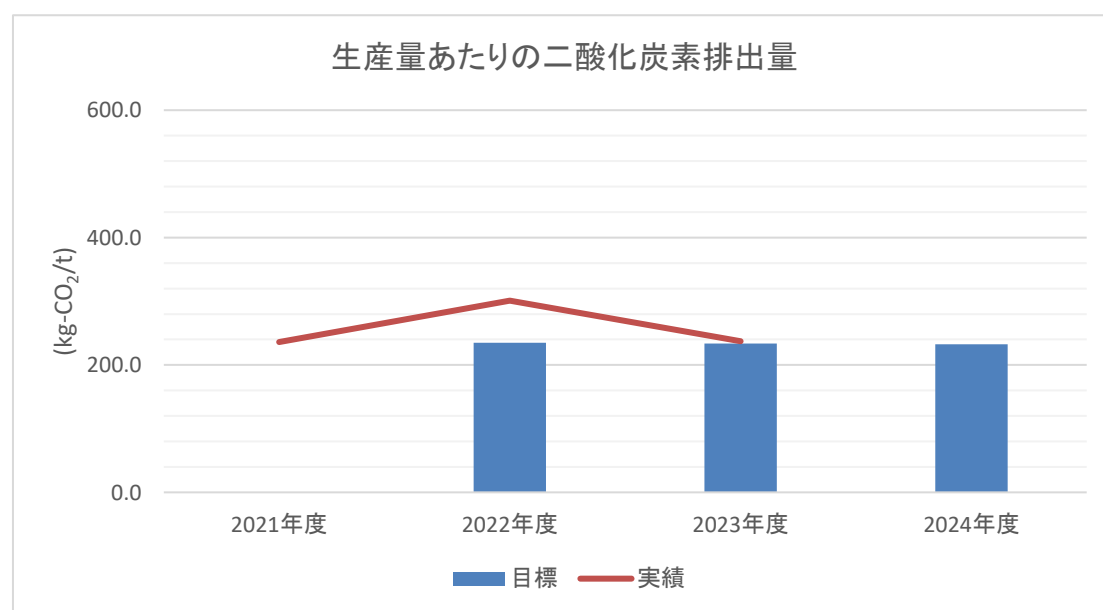
重点管理項目		2022年度	2023年度	2024年度
		2021年度対比 総生産量あたりの 削減目標	2021年度対比 総生産量あたりの 削減目標	2021年度対比 総生産量あたりの 削減目標
(1)	二酸化炭素排出量の削減	1.0%減	1.5%減	2.0%減
(2)	食品廃棄物排出量の削減	1.0%減	1.5%減	2.0%減
	発生量	64.4t	64.0t	63.7t
	廃プラ、一般廃棄物排出量の削減	1.0%減	1.5%減	2.0%減
(3)	水使用量の削減	3.0%減	3.5%減	4.0%減
(4)	再生利用等の実施率	維持向上	維持向上	維持向上
(5)	自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに対する環境配慮	・ロスの少ない商品開発 ・環境に配慮した包材の検討	・ロスの少ない商品開発 ・環境に配慮した包材の検討	・ロスの少ない商品開発 ・環境に配慮した包材の検討



(1) 二酸化炭素

		単位	2021年度	2023年度			
			(基準年度)	(基準年度比1.5%削減)			
			実績	目標	実績	基準年比	評価
生産量		t	11,571		8,609	74.4%	
電気	買電量	千kwh	3,219		2,488	－	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,465		1,132	77.3%	
	生産量あたり	kg-CO ₂ /t	126.6	124.7	131.5	103.9%	△
都市ガス	使用量	千m ³	586		418	－	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,266		904	71.4%	
	生産量あたり	kg-CO ₂ /t	109.4	107.8	105.0	96.0%	○
ガソリン	使用量	ℓ	818.0		967.0	－	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1.9		2.2	116%	
	生産量あたり	kg-CO ₂ /t	0.2	0.2	0.3	156%	×
灯油	使用量	ℓ	924.0		736.0	－	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2.3		1.8	78%	
	生産量あたり	kg-CO ₂ /t	0.2	0.2	0.2	105%	△
液化天然ガス (LPG)	使用量	kg	2,118.0		387.0	－	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	6.4		1.2	19%	
	生産量あたり	kg-CO ₂ /t	0.6	0.5	0.1	25%	○
合計	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,742		2,041	74.5%	
	生産量あたり	kg-CO ₂ /t	236.9	233.4	237.1	100.1%	△

電気のCO₂調整後排出係数: 2018年度より「0.455」を使用



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標		234.6	233.4	232.2
実績	236.0	301.0	237.1	-

【 取組結果の評価 】

電気使用によるCO₂の排出量は生産量あたり3.9%増。

都市ガス使用によるCO₂の排出量は生産量あたり4.1%減。

トータルして、2023年度は2021年度に対し、生産量あたり0.1%の増加となる。



(2) 廃棄物／(3) 水

	単位	2021年度	2023年度			
		(基準年度)	(基準年度比1.5%減)			
		実績	目標	実績	基準年比	評価
生産量	t	11,571		8,609	74.4%	
<食品廃棄物>						
再生利用量(飼料)	t	64.74		97.81		
熱回収	t	-		1.77		
発生量	t	64.74	63.8	99.58	153.8%	
発生原単位	kg/t	5.60	5.51	11.57	206.7%	×
再生利用等実施率	%	100.00	100.00	99.90		
<廃プラスチック>						
再生(RPF)	t	92.90		72.82		
発生量	t	92.90		72.82	78.4%	
生産量あたり	kg/t	8.03	7.91	8.46	105.4%	△
<一般廃棄物>						
発生量	t	11.40	11.23	10.65	93.4%	
生産量あたり	kg/t	0.99	0.97	1.24	125.6%	△
<水>						
			(基準年度比3.5%削減)			
揚水量	揚水量	t	64,571	48,203	74.7%	
	生産量あたり	t/t	5.58	5.6	100.3%	△
排水量	排水量	t	53,989	40,258	74.6%	
	生産量あたり	t/t	4.67	4.7	100.2%	△

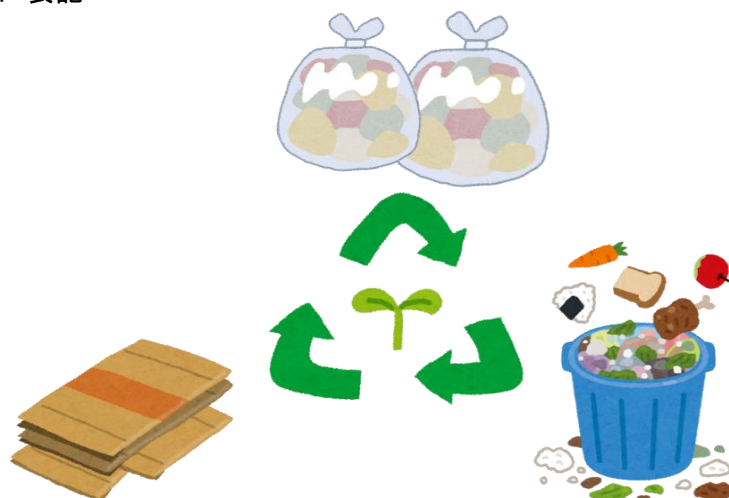
【 取組結果の評価 】

- <食品廃棄物> 基準年比、生産量あたり106.7%増。
- <廃プラスチック> 基準年比、生産量あたり5.4%増。
- <一般廃棄物> 基準年比、生産量あたり25.6%増。
- <水> 基準年比、生産量あたり0.3%増。

(4) 再生利用等の実施率

(5) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに対する環境配慮

「環境経営計画の実施状況と評価」に表記



6. 環境経営計画の実施状況と評価

取組課題	活動内容	取組状況	評価
二酸化炭素 排出量削減	スチームトラップ点検及び早期補修	点検実施。不良品交換完了	○
	エアー漏れ箇所の点検及び早期補修	点検・補修実施	○
	省エネ機器へ交換及び再生エネルギー導入	吸収式冷凍機の駆動ポンプ インバータ化 改修工事完了	○
	機器の突発故障の削減	点検、整備、更新 継続	○
	LED照明器具への変更	順次変更	○
	更新、新設機器の省エネ機器導入 (製造部と納入仕様時の連携)	第8工場 包装ラインにパレタイザー導入を検討	○
	ボイラー 制御パターン切替えによる省エネ (SD6生産時1／停止時2)	制御パターン固定	○
	蒸気漏れ箇所の点検及び早期補修	早期対応補修	○
	外部倉庫への横持輸送距離削減	近隣倉庫1箇所に統一。	○
廃棄物削減	業者工事 廃棄物持ち帰りを三協基準とする	補修・改修工事に伴う廃棄物は全て業者処分	○
	リサイクル産廃の区分けを徹底し、リサイクル廃棄の回収率アップ	回収資材によって業者に引き渡し実施	○
	製造予定変更による廃棄物(賞味期限切れ)削減	原料として1,053kg廃棄、対前年比42%減	○
	ユーティリティ管理によるエネルギー使用量の把握	蒸気、都市ガス、水使用量 ユーティリティ管理	○
	製造ミスによる原料廃棄量の削減	原料、製品、半製品合わせて17,221kg廃棄、前年対比約54%増	△
	クラフト袋の廃棄削減	生産数量に起因するため増加	×
	自社品の賞味期限管理により長期在庫による廃棄の低減を図る	賞味期限を管理する「在庫年齢表」を作成して管理	○
	不良品発生による廃棄ロス削減	前期より1件増加	×
	検査の簡易化の検討	生産品目に合わせ微生物検査の一部を省略	○
	賞味期限延長のための配合技術手段と保存性試験	保存性試験において賞味期限1年以上の製品が8品	○
	サイボウズの活用(ペーパーレス)	ペーパーレス化について引き続き検討中	○
再生利用等の 実施率	食品循環資源の再生利用等の実施率を維持	実施率99.9%	○
排水量削減	水漏れ箇所の点検及び早期補修	水漏れ箇所については早期補修対応済み	○
	洗浄水の削減	洗浄回数減で使用量削減	○
特定化学物質 使用量削減	硝酸、希硫酸の削減及び使用方法の把握	毎日、毎月の薬品使用量及び排水処理量の管理を継続中	○
	業務用冷凍空調機 機器の定期点検 (フロンガス使用 第一種特定製品)	フロンガス第1種特定製品リスト表に基づき特定業者での点検	○
自らが生産・販売・提 供するサービスに関す る項目	環境に配慮した包材の検討	引き続き検討	○

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される法規制とその遵守状況

法規名	遵守事項	実施状況	評価
食品リサイクル法	食品廃棄物発生量年間100トン以上の場合、報告	排出量100トン未満	○
	抑制・再生・熱回収・減量の実施	一部飼料化処理	○
省エネ法	中長期計画の提出	実施	○
	使用状況の定期報告書の提出	実施	○
下水道法	水質基準の遵守	遵守	○
	水質の測定・記録保管	遵守	○
浄化槽法	保守点検及び清掃、定期検査	実施	○
水濁法	事故時の措置	無事故	○
騒音規制法	規制基準の遵守	遵守	○
振動規制法	規制基準の遵守	遵守	○
悪臭防止法	規制基準の遵守	遵守	○
廃棄物処理法	マニフェスト管理	遵守	○
	産業廃棄物管理票交付状況報告	実施	○
PCB廃棄物処理法	保管及び処分状況等届出	実施	○
消防法	危険物貯蔵所の定期点検	実施	○
フロン排出抑制法	定期点検・簡易点検	実施	○
大気	ばい煙量又は濃度の排出基準遵守	遵守	○
	ばい煙量又は濃度の測定、記録保管	実施	○
埼玉県 地球温暖化対策推進条例	地球温暖化対策計画作成・報告	実施	○
	地球温暖化対策計画・実施状況報告	実施	○
埼玉県生活環境保全条例 特定化学物質	特定化学物質等適正管理手順書作成・報告書	実施	○
	特定化学物質取扱量報告書	実施	○
悪臭防止法関係	臭気指数規制の遵守	遵守	○
特定化学物質	特定化学物質取扱量報告	実施	○

地域協定	遵守事項	実施状況	評価
騒音	夜間、スプレードライヤーのハンマリングを禁ずる	遵守、指摘なし	○
	夜間、フォークリフト走行時、バックで音が出ないタイプを使用	遵守、指摘なし	○
	スプレードライヤー乾燥温度によるハウリングを防止	遵守、指摘なし	○
悪臭	フレーバーの強い製品の製造方法を改善	遵守、指摘なし	○
水	ミストの飛散防止(ダクト改造)	遵守、指摘なし	○

以上、当該関連法令について、関係機関等からの指導、指摘等はありませんでした。
また、訴訟等も同様に過去3年間1件もありませんでした。(2024年3月31日)

8. 代表者による全体の評価と見直し

1) 全体の確認評価

項目	代表者による評価
環境目標の達成状況	目標未達の項目については改善に努める
環境活動計画の実施状況	目標未達の項目については改善に努める
環境関連法規等の遵守状況	良好
外部からの苦情・要望の受付	初動が早く、適切な対応を心掛ける
その他 （ 是正措置 予防措置 前年度指摘等 ）	環境負荷低減に努める

2) 代表者による環境方針等の変更の必要性及び指示事項

変更要否 スプレッドライヤー事業からの撤退に伴い環境経営方針を一部変更
指示事項 改善活動策を検討し目標達成に向け努めること。

3) 次年度を取組内容

目標達成に向けた環境経営計画を策定し、改善に努める。
食品廃棄物の削減、製造ミスによる廃棄を極力抑える。

9. 次年度の目標と計画

【環境経営目標】

重点管理項目		2022年度 基準年:2021年度実績	2023年度 基準年:2021年度実績	2024年度 基準年:2021年度実績
(1)	二酸化炭素排出量削減	1.0%減	1.5%減	2.0%減
(2)	食品廃棄物を含む廃棄物排出量(原単位)削減	1.0%減	1.5%減	2.0%減
(3)	再生利用等の実施率	維持	維持	維持
(4)	水使用量(揚水量)削減	3.0%減	3.5%減	4.0%減
(5)	自らが生産・販売・提供する製品およびサービスに対する環境配慮	ロスの少ない商品の開発 環境に配慮した包材の検討	ロスの少ない商品の開発 環境に配慮した包材の検討	ロスの少ない商品の開発 環境に配慮した包材の検討

【環境経営計画】

重点管理項目	活動計画
二酸化炭素 排出量削減	スチームトラップ点検及び早期補修
	エアー漏れ箇所の点検及び早期補修
	既設 機器 省エネ機器へ交換 計画及び再生エネルギー導入の計画
	ユーティリティー機器、重要機器 突発故障の削減
	LED照明器具への変更
	更新、新設機器の省エネ機器導入(製造部と納入仕様時の連携)
	蒸気漏れ箇所の点検及び早期補修
	外部倉庫を近距離にする事による横持ち輸送のCO ₂ 削減
廃棄物削減	業者工事 廃棄物持ち帰りを三協基準とする
	リサイクル産廃の分けを徹底し、リサイクル廃棄の回収率アップ
	製造予定変更による廃棄物(賞味期限切れ)削減
	ユーティリティー管理によるエネルギー使用量の把握
	製造ミスによる原料廃棄量の削減
	クラフト袋の廃棄削減
	自社品の賞味期限管理により長期在庫による廃棄の低減を図る
	不良品発生による廃棄ロス削減
	検査の簡易化の検討
	賞味期限延長のための配合技術手段と保存性試験
	サイボウズの活用(ペーパーレス)
再生利用等の実施率	食品循環資源の再生利用等の実施率を維持
排水量削減	水漏れ箇所の点検及び早期補修
	洗浄水の削減
特定化学物質 使用量削減	硝酸(製造部)、希硫酸(工場管理課)の削減及び使用方法の把握
	業務用冷凍空調機 機器の定期点検(フロンガス使用 第一種特定製品)
自らが生産・販売・提供するサービスに関する項目	環境に配慮した包材の検討

10. 社会貢献・取り組み 等



毎月1回、工場周辺の美化に取り組んでおります。



消火栓訓練。(令和5年11月20日)



地震を想定した避難訓練。(令和5年3月20日)



埼玉県環境保全連絡協議会で「環境保全優良事業所」を受賞しました。(平成26年5月16日)



エコアクション21の長期継続による感謝状を拝受しました。(平成27年11月16日)

以 上